

## 第Ⅲ章 リスクアセスメント (Risk Assessment) リスクコントロール (Risk Control)

### 1. 「リスク」の定義

確率的に発生する望ましくない事象 (Risk Factor リスクファクタ) について、その事象の影響 (Hazard) と事象の発生確率(Probability)の積をリスク(Risk)と定義することにより、定量化ができる。

「リスク」 = 「事象の影響」 × 「事象の発生確率」  
Risk Hazard Probability

事象の影響 : ①人命, ②健康被害(死亡以外)、③経済的損失  
その他の指標もあり得る。  
事象の影響の選択には個人や社会の価値判断が反映される。

### 2. リスクの性質

確率と影響の関係

受容可能なリスク Acceptable Risk  
受忍可能なリスク Tolerable Risk

リスクとリスクの比較 (トレードオフ)  
リスクと便益 (Benefit) を比較して考えることができる。

自発的リスク Voluntary Risk 随意リスク  
非自発的リスク involuntary Risk 不随意リスク  
その境目

事象の影響の比較の必要がある

### 3. 「リスクアセスメント」の目的 リスクの評価

リスクは完全にゼロにはできないことを認識する。  
適切なリスク管理が必要である。

## リスクアセスメントの手順（例）

- ①有害性、 Hazard Identification
- ②暴露評価 Exposure Analysis
- ③量－反応効果 Dose-Response Analysis
- ④判定 Risk Characterization

## 4. リスクコントロール（リスク対策）

ハザードマネジメント : 危険因子を除外することを主眼とする

参考文献 瀬尾佳美 「リスク理論入門」 中央経済社 2005 年